

研究機関：広島大学

研究課題名	ハイブリッドレジンおよびPEEKを用いたCAD/CAM冠装着後の観察研究
研究責任者名	広島大学病院咬合・義歯診療科 助教 森田晃司
研究期間	2021年10月15日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	2016年1月から2021年3月の間に、広島大学病院歯科にてハイブリッドレジンもしくはPEEK(ポリエーテルエーテルケトン)材料を用いた大臼歯CAD/CAM冠を装着した患者さん。
意義・目的	現在当院では、メタルを使用しない場合は非金属であるハイブリッドレジンCAD/CAM冠を大臼歯に使用する治療を行っています。また、これまでに臨床研究でPEEKを用いたCAD/CAM冠による治療を行いました。今回は、これらのCAD/CAM冠の予後を調査し、臨床的妥当性を評価するためにこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報の調査および対象者にアンケート調査、CAD/CAM冠の評価ならびに口腔機能検査を行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、口腔内情報(残存歯、歯周状態、CAD/CAM冠の状態)です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院咬合・義歯診療科 助教 森田晃司
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5677 広島大学病院咬合・義歯診療科 助教 森田晃司